

Table 2 個別の指導計画

&lt;作成期日：平成 年 7 月 日 評価期日：平成 年 月 日&gt;

氏名・性別	C 男	めざす方向性	・少しずつ自分の感情をおさえて生活できるようにする。 ・学級全体であたたく見守ることなどを指導し、周りも育てながら集団に適応できるようにする。 ・設定した目標を意識した生活ができるようにする。		
学校・学年・組	小学校・4年				
診察・相談歴	A 県総合教育センターにて知能検査及び相談				
項目	具体的目標	内容・方法		支援者	評価
1	・身の回りの整理整頓を心掛ける。	・毎日一つ頑張ることを自分で設定する。(鼻をかんだティッシュはすぐ捨てる、机の中を整理するなど) ・放課後、一日の振り返りの時間を設け、できたことを褒め、認める。(目標が達成できたらカードにシールを貼る)		担任	
2	・ひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読み書きができる。	・毎日 10 分間練習する。(大好きな車に関する言葉などから問題を出す) ・毎日のプリントをファイルに綴じ、積み重ねが見えるようにする。		担任	

Table 3 個別の指導計画修正版

&lt;作成期日：平成 年 10 月 日 評価期日：平成 年 12 月 日&gt;

氏名・性別	C 男	現在、困っていること	・感情のコントロールができない。 ・質問の途中で出し抜けて答えたり、反抗的な暴言を吐いたりする。		
学校・学年・組	小学校・4年				
診察・相談歴	A 県総合教育センターにて知能検査及び相談	長期目標(年間)	・優しい言葉や丁寧な言葉を増やし、学級の友だちと仲よくかかわることができるようにする。		
視点	短期目標(学期)	評価	手だて	評価	評価所見
行動	・場に応じた望ましい話し方ができるようにする。 <発表する時、友だちと話をする時など、丁寧な言葉で話す>	B	・発言する時のルールを作り、学級で確認する。 ・学活の時間に「みんなのためのルールブック」(ロン・クラーク, 2004)の読み聞かせをする。 ・自分の行動を振り返ることができるように、問題が起きた時にはその場でソーシャルスキルトレーニングを行う。	A B A	・気持ちが安定している時は丁寧な言葉づかいで話せるようになった。 ・「みんなのためのルールブック」に大変興味を示し、内容について確かめるようになった。

\* 目標評価基準 A ~十分に達成 B ~ほぼ達成 C ~達成不十分 / 手だて評価基準 A ~非常に効果的 B ~やや効果的 C ~効果なし